



平成 23 年 2 月 10 日 発行
日本ボーイスカウト大阪連盟

OSAKA COUNCIL, SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

櫻井 洸 相談役を偲ぶ

大阪連盟の相談役 櫻井洸 さんが、昨年 10 月 1 日にご逝去されました。
1970 年から大阪連盟副理事長を務められ、その後大阪連盟の役員定年制
を設け自ら退任されるまで理事長として大阪連盟を導き続けられました。理事長退任
後も相談役として、私たちの大きな心の支えでした。

永年のご精励に深い感謝を捧げるとともに、衷心からご冥福をお祈りいたします。

櫻井相談役は

22 歳で応召、海軍技術士官として務められ、
復員後は大阪大学大学院を修了、工学博士として、
大阪大学で化学の研究と、同大学教授として教育
に身を捧げられました。その後、国立奈良高等専
門学校校長、国立奈良先端科学技術大学院大学
初代学長を歴任されました。

団委員長として

堺第 4 団団委員長を務めておられたころ、ご子
息お二人も入団され、現在はそろってお医者さま
として活躍されています。他にも、日本でも指折り
の心臓外科医 大阪大学の澤教授、1 月の「団委
員長・地区役員の集い」で基調講演をいただいた
大阪ガス執行役員の川岸隆彦さん等多くの人たち
が、櫻井さんが団委員長をされておられたころのス
カウトです。厳しく優しい先生でした。



櫻井 洸 相談役

1921 年 7 月 23 日生れ 89 歳

大阪連盟での役歴

昭和 38 年～昭和 40 年 名誉会議議員
昭和 41 年～昭和 46 年 野営行事委員長
昭和 45 年～昭和 62 年 副理事長
昭和 63 年～平成 7 年 理事長
平成 8 年～ 相談役
昭和 46 年～

財)大阪ボーイスカウト振興協会評議員

泉州地区での役歴

昭和 40 年～昭和 42 年 野営行事委員長
昭和 43 年 財務委員長

平成22年度の目標

『標準隊を目指して ーすべての支援を団・隊にー』
ー 団、隊の再生・活性が明日の運動を輝かせる ー

富士章スカウトによる プロジェクト発表会

平成23年1月23日に富士章スカウトによるプロジェクト発表会が行われ、7人の富士章受章スカウトが自身のプロジェクトを発表し、BS、VS、RS79名、指導者132名の参加がありました。

技能章考査委員

三島地区より、81人の方々の委嘱が追加承認されました。

よって現在、大阪の技能考査委員は2,181人になりました。

第7回大阪連盟スカウト展

開催日：平成23年3月26日(土)～27日(日)

会場：NHK大阪放送局1階「アトリウム」

時間：午前10時～午後6時まで

皆で集まって、クラフトを楽しみ、大勢のスカウトを一般の人たちに見てもらおう!!

第30回記念大阪国際女子マラソン

1月30日に第30回記念大阪国際女子マラソンが開催され、今回は長居公園でご奉仕しいただき無事に開催することが出来ました。

ご協力ありがとうございました。

こどもカーニバル

こどもカーニバルに大阪連盟も参加します。

日時 平成23年4月24日(日)

会場 大阪城太陽の広場

担当 なにわ地区

協力 淀川北地区、城北地区、
南東地区、阪南地区

是非お立ち寄りください

進級おめでとう!

富士章受章

面接日1月27日 3人

塩山 達也くん 大阪第72団(淀川北)

プロジェクト

「千里の道も一歩から2」

「Let's Try!」

「The チャリ走!

一泊二日のびわ湖一周」

菊山 智也くん 寝屋川第5団(北河内)

プロジェクト

「Discovery 道で出会うもの」

「ハワイ・レインボー・キャンプを

振り返る(努力の跡)」

「鯖街道」

田中 達樹くん 大阪第27団(城北)

プロジェクト

「W.P.E(地球温暖化、ゴミ)」

「Friends without Borders」

「～その時は琵琶湖によろしく～」

◎菊スカウト

9人

豊中地区

2人

三島地区

2人

吹田地区

1人

北大阪地区

1人

阪南地区

2人

泉州地区

1人

維持会員加入にご協力ください!!

大阪のボーイスカウト運動の資金は、
財)大阪ボーイスカウト振興協会
の支援を受けています。

特別維持員：1口5万円、賛助維持員：1口
1万円 通常維持員：1口2千円

※詳しくは大阪連盟事務局まで

日米スカウトフォーラム

日米スカウトフォーラムが平成23年2月5日～6日の日程で開催され大阪連盟から1人が参加しました。

参加スカウト 豊中第5団 野村一樹

海外派遣募集

◎ 平成23年度スカウト特別海外派遣

期間 平成23年度内に出発し、
本人の希望する2～3週間程度
場所 本人が希望する国または地域

◎ 平成23年度スカウト・オーストラリア短期留学(学習旅行)派遣

期間 平成23年夏季(7～9月)のうち
約6～8週間程度
場所 オーストラリア

いずれも大阪連盟締切り

平成23年3月19日(土)

詳細については日本連盟ホームページで確認の上、各地区国際委員長までお問い合わせ下さい。

平成22年度

オーストラリア交換留学生受入れ

日本連盟が毎年、オーストラリアベンチャースカウトを短期留学生として受け入れる事業が今年度も行われ、そのうちの一人 **ALEXANDER GORDON** (アレクサンドリアゴードン) 君がホームステイを終え、1月22日無事帰国の途につきました。

彼は、11月28日に大阪入りし、城北地区大阪第96団ベンチャースカウト藤木修平君宅に57日間ホームステイし、留学先の大阪産業大学付属高等学校の体験とともに団・地区の活動に参加する等、日本の生活を満喫し、帰国しました。

お世話になった藤木君ご家族をはじめ、団・地区関係のみなさんありがとうございました。

第6回ハワイ・レインボー・キャンプ壮行会

第6回ハワイ・レインボー・キャンプ派遣団の結団式・壮行会が出発前の3月21日(祝)に大阪市長居ユースホステルで開催されます。

第3回国際活動セミナー

2月6日にアネックスパル法円坂で開催されました第3回国際活動セミナーに113人の方が参加されました。

人事往来

◎地区コミッショナー就任(2月10日)
なにわ地区 西田 俊幸氏

◎地区副コミッショナー 就任(2月10日)
城北地区 佐藤 浩氏

◎団担当コミッショナー 就任(2月10日)
城北地区 衛藤 祐一郎氏

◎地区コミッショナー 辞任(2月10日)
なにわ地区 小川 時弘氏

◎地区副コミッショナー 辞任(2月10日)
東阪地区 川上 皆考氏

地デジボランティア活動

ボーイスカウト日本連盟では総務省からの協力要請に基づき、総務省テレビ受信者支援センターが中心となって推進している、地上デジタル放送完全移行(7月24日)のための普及活動に協力していくことになりました。

具体的には、スカウトによる各地域での地デジ化移行についての呼びかけパンフレットの配布活動です。各団に地区を通じて、参加のための資料が配られます。是非ご協力下さい。

活動は、特別な行事を組むのではなく、団関係者や家族・親族に配布したり、活動先で会う人たちに配っていただくだけで結構です。

参加の方法は、大阪の「地デジコールセンター」にご連絡いただければ、配付物を必要数量を送って下さるので、それを配っていただくだけです。

スカウトおおさか特別号
新春プレゼント当選者発表

キャンプおおさか整備日程

4月17日 三島・吹田・淀川北・なにお
6月19日 城北・北大阪・北河内・南東
9月4日 阪南・東阪・南大阪・泉州
11月23日 泉州東・泉州南・豊能・豊中
※整備作業日は、使用できません

特賞 太子第1団 尾中祐紀さん
1等 岸和田第4団 大崎遼太郎さん
太子第1団 佐々木璃雄さん
2等 太子第1団 田中史樹さん
大阪第11団 中路天麻さん
大東第3団 山本智哉さん
3等 その他15名

スカウト用品からのお知らせ

新商品のご案内

●23WS Jピンバッジ @200円

うぶ声

北河内地区 門真第1団ローバー隊 新規
阪南地区 大阪第134団スカウトクラブ 新設
<平成23年2月10日付 理事会承認>

大阪連盟の現状 H23.2.10

団の数	220団
隊の数	958隊
ビーバー隊	189隊
カブ隊	214隊
ボーイ隊	219隊
ベンチャー隊	209隊
ローバー隊	127隊
スカウト数	7,432人
団委員数	2,365人
指導者数	3,242人
合計	13,039人

大阪連盟再生プログラム

【元気サポートシート】

平成19年度から取り組みを進めております再生プロジェクトへの、団や地区での推進支援のための『元気サポートシート』を、地区を通じて各団へ配布させて頂いており、それぞれに活用頂いていることと存じます。

今般、ご要望により、各シートを大阪連盟ホームページから、ダウンロード頂けるように準備を致しましたので、各団、各地区におかれましては、一層のご活用をお願い致します。

※トップページ (<http://swo.to/>) より、「元気サポートシート」のコーナーをクリックしてください。

日本ボーイスカウト大阪連盟

〒536-0006

大阪府中央区法円坂1-1-35

(アネックスパル法円坂 4階)

電話 06-6943-0043 FAX06-6944-1573

ホームページ <http://swo.to/>

大阪連盟キャンポリー開催

平成24年8月13日(月)～18日(土)

平成22年度の重点課題

- ① 標準隊を目指す具体的活動を全ての隊が行う。
- ② 「元気サポートシート」活用の徹底
- ③ 複数隊による活動の推進
- ④ 地区の団支援機能の充実
- ⑤ スカウト活動を「知らせる」「見せる」「理解してもらう」活動の推進